

田園調布九条しんぶん

発行
田園調布九条の会
連絡先 (3759-5521)
駒木根智行

HP は「田園調布九条の会」で検索し
田園調布九条の会 Wix.com へ

悪法目白押しの後半国会 後半国会は悪法が目白押しです。アメリカの対中戦争の一翼を担うための軍備増強路線の強行、自由な学問・研究や教育を破壊する学術会議の改変は、きっぱり拒否したいと思います。

日本学術会議法案 独立性奪い権力に従順な機関に

現行の「日本学術会議法」を廃止し、同名ながら全く異質の「日本学術会議法」に変える法案が 18 日に衆院で審議入りしました。学術会議は国の特別機関として存立され、政府からの独立と自主的な運営が保障されてきました。「地球と人類の未来をつくる学問や技術が、時々の権力者によって歪められたり悪用されてはならない」ことは、今も生きる世界共通の歴史の教訓です。「金は出せ、口は出さな」では世間に通用しない」と言う主旨の国会議員の発言には、あ

まりの無知蒙昧ぶりに本当に情けなくなりました。

2020 年に 6 人の新会員候補の任命を当時の菅総理大臣が拒否しました。形式的な任命権者が理由も明らかにせず拒否するなどあり得ませんが、未だに頑なに拒否しています。今国会での強引な換骨奪胎法案の提出は、任命を求める要求を逆手にとって“学術会議の見直し”にすり替え、介入策動を強行してきたという訳です。

現行の日本学術会議法には旧教育基本法と同じく前文があります。そこにアジア太平洋戦争などに協力してきた事への痛切な反省を明記して、政府からの独立を揺るぎない原則として確立したのです。軍事研究を拒否する声明を過去 3 度にわたって表明してきた根拠には、戦争協力を拒否する原則が生きて力を発揮している事実があります。この前文も削除されようとしています。

自民党を中心とした歴代の日本政府は、思い通りにならない学術会議や研究・教育機関をなんとかして権力に都合のよい研究や提言を行う従順な機関に変質させるために、大学の独立行

政法人化による兵糧攻めなど、系統的に様々な締め付け政策を巡らせてきました。集大成とも言える法案に盛られている“介入のための仕組み”を列挙しました。

- * 首相任命の監事による監査の実施
- * 政府に提出される活動計画や自己評価に対する評価委員会の設置
- * 部外者による人事の選定助言委員会の設置
- * 新学術会議発足の際の会員選定への政府の関与
- * 補助金など外部資金での運営
- * 会員の秘密保持規定と罰則の導入…

がんじがらめに身柄を拘束 (2 面へつづく)

田園調布九条の会 2025 憲法記念日のつどい

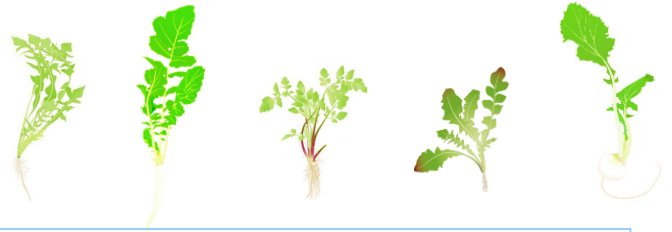
日弁連憲法対策委員の弁護士 大江京子さんが語る
日々の生活で、憲法を感じていますか？

日 時	5 月 6 日 (火・休) 午後 2 時～4 時 (1 時半 開場)
会 場	大田区嶺町集会室 (嶺町特別出張所 3 階) 多摩川線「沼部駅」または池上線「雪が谷大塚駅」
講 師	大江京子さん (改憲問題対策法律家 6 団体連絡会 事務局長)
参加費	1000 円 (高校生 200 円)
申込み	Tel: 3721-6484 (鳥居) Fax: 3721-6486



写真説明: 米ハーバード大学で、トランプ政権の圧力に抵抗するよう求める人々
* 全米で 100 をこえる大学や高等教育機関の学長が共同して「政府の政治介入」に反対する共同声明を出しました (4 月 23 日 しんぶん赤旗)

して遮二無二言うことをきかせるより、自由で豊かで柔軟な発想を保障してこそ学問・技術の発展や芸術が花開く。明々白々ではありませんか。法案の危険な内容と狙いが知られはじめ、廃案を目指す運動も拡がり始めています。圧倒的な世論の力が不可欠です。私たちも、微力ながら廃案の運動に加わりたいと思います。



能動的サイバー防御法案 先制攻撃に踏み込む危険冒すな

18 日審議入りした能動的サイバー防御法案は、22 年 12 月に閣議決定された安保 3 文書のひとつ「国家安全保障戦略」で確認されたサイバー攻撃対処能力の向上方針の具体化で、「仮想敵国からのサイバーへの攻撃によって、重要インフラ機能が破壊される危険が高まっており、安全保障上の大きな懸念となっている」という情勢認識が土台となって作られた法案です。

膨大な個人情報や無断で政府が入手できる事も重大な問題ですが、更に問題なのは日本の国家機関が他国のサーバーに侵入・監視し、日本への攻撃があると判断出来たら、そのプログラムの停

止や削除、無害化の措置をとる事ができるということです。

テレビのドラマでみるスパイ同士の騙し合いのような話ですが、日本が実施した外国通信網へのアクセス・破壊は敵国から見れば明らかな先制攻撃です。しかも米軍と自衛隊が共同で運用し米軍のシステムへの侵入も日本への侵入と見なすということですから、一つ間違えば世界大戦に直結します。こんな法案は、正義と秩序を基調とする交際平和を誠実に希求する日本国憲法の下では決して許されません。

🦋🌸🦋 憲法状況の今 — 大江京子さん講演の意義 — 🦋🌸🦋

衆議院選前、改憲勢力は改憲勢力“3 分の 2”を維持することと野党第 1 党の座を積極的改憲政党が占めることの 2 点を政治課題としたとされる。国会の憲法審査会の運営は与党と野党第 1 党との協議で行われる。この 2 つの政治課題が達成されれば一気に成文改憲を実現できる。

選挙結果はどうであったか？国民周知のように与党は“3 分の 2”どころか自民単独では過半数割れの状況である。成文改憲は沈静した。諦めたわけではなく世論の動向を見て、当面静かにせざるを得ない状況となっている。

民主主義の世の中、選挙結果に謙虚に耳を傾け憲法遵守、国民生活向上、世界平和の推進に取り組むのが普通である。

そうはなっていない。本紙 209 号、210 号などで報告している事態が目立たぬように、目立た

ぬように進行している。

大江弁護士は「日弁連の憲法対策本部の委員をはじめ多くの役職をこなしながら、衆参両院の憲法審査会を欠かさず傍聴し、情勢を提供し続けてこられた」(210 号)

この 30 年程をとっても、憲法改悪反対の運動、このための国民へのアピールで法律家、法律家団体の果たした役割は、全国の九条の会などの活動とともに大きなものがある。改憲問題対策法律家 6 団体連絡会の役割は大きい。その事務局長大江先生の役割は大きい。

今こそ大江講演に学び、深く広い活動によって都議選、参院選で衆院選で作り上げた政治状況をさらに一歩、二歩前進させたいものだ。

(田園調布九条の会呼びかけ人 川合光也)



憲法記念日のつどい(5月6日)の講演レジュメ 届きました

大江京子弁護士から5月6日の講演レジュメ「日々の生活で、憲法を感じていますか」が届きました。

先生のレジュメは第1章「憲法とは何か」第2章「明文改憲の動き」第3章「実質的な改憲」で構成されています。その中身は…

「憲法と立憲主義」「憲法と法律の違いはなにか」

「個人の尊重と民主主義と平和の関係」

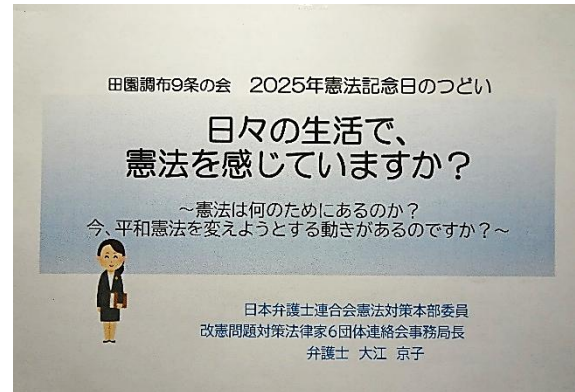
「私たちの生活と憲法を考えてみる」「憲法審査会は何をするとところか」「5派が主張する任期延長改憲の必要性」「日米軍事一体化で進む戦争準備」

「米国の考える中国との戦争作戦 I AMD」

「南西諸島のミサイル基地網が完成へ」「軍隊は国民を守らない 図上避難訓練」

「進む実質改憲(戦争準備)にどう対抗するか」等等、全部で40ページを超えます。これだけで座右の書になること必定です。

中世の絶対君主を彷彿とさせるトランプ米大統領の振る舞い、加速する富の偏在(社会が産み



だした人類共有の資産をごく一部の支配層が独占する問題)、地球環境破壊の爆発的進行など、深刻化する現代の諸課題を目の当たりにして、社会の仕組みや政治・経済体制のあり方などを問い直すとする人々が増えています。今度の講演が私たちの近未来を考えるうえで貴重な助言を得られるチャンスになる事は間違いありません。

この九条しんぶんには是非 みなさまの声をお寄せください！
コラムやエッセイ、お待ちしております！

第21回 九条の会の「ざっくばらんカフェ」開店します



5月は憲法記念日の集いを行いますので、カフェは7月に延期いたします。

日 時 : 2025年7月10日(木) 午後3時～5時
会 場 : 田園調布倶楽部(多摩川駅近く)
会 費 : 1,700円
タイトル : 「後見制度について」
ゲ ス ト : 大井 真知子さん(司法書士)
申 込 み : 7月7日(月)午前中までに
申 込 先 : 鳥居〈電話:03-3721-6484 FAX:03-3721-6486〉

当 面 の 日 程	5月3日(土)	12:30～14:30	憲法大集会 有明防災公園	(11時 多摩川駅集合)
	5月6日(火・休)	14:00～16:00	憲法記念日のつどい	嶺町集会室
	5月19日(土)	18:30～	19日国会前行動	(17時 多摩川駅集合)



私もひとことシリーズ 第 10 話



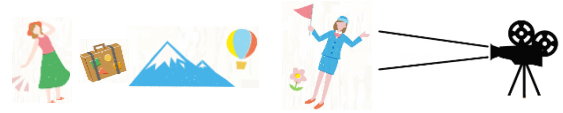
皆様の想い、ご意見をお寄せください。趣味、仕事、健康、喜び、悩みなど何でも OK です。

死ぬまでにやっておきたい 100 のこと

料理研究家の栗原ハルミさんの言葉が目に残った。本当に 80 を過ぎれば今、始めなければ間に合わない。作家の佐藤愛子さんは「ああ面白かったと笑って死にたい」とか。うんうんそうしたいものだ。孤独死も増えている今、早速考えてみる。100 個は思い当たらないが、私はまず何といっても旅。旅といってもほとんどがお任せのツアーだが、パンフレットや案内を見ているだけでもワクワクする。そしてまず足元から。洗足池の散歩も旅の一步で四季折々の花・雑草・樹木、鳥など本当に美しく、楽しい。手の届くところに魚が寄ってきたりカルガモの親子の行列にも出会った。カワセミの姿にはカメラマンの放列。白と黒の地味な鴨。キンクロハジロは結構愛らしい。「鴨鍋にしちゃうぞ」と呟きながらその姿を追う。

環境保護に尽力されたイギリス出身の WC ニコルさんは「日本は本当にスバラシイ！北の流水から南の珊瑚礁まで千種以上の樹木が生息する。世界でも稀な国」と絶賛していた。宝石箱のような海を戦闘機が去来する島にしてはならない。最近

のホテルのフロントには人がいない。エレベーターもどうなっているの？と戸惑うこともある。私は安心してくつろげるのが宿の魅力なのだが。



2 番目が映画をたくさん観たい。まだ入学前の頃だったと思う。夏の夜、小学校の校舎の暗幕で「ひろしま」という映画を観た。月岡夢路さんだったろうか。衝撃を受けた。日本に原爆が投下されたことを初めて知った。知ったことで、平和を守る運動に参加するキッカケになっている。

ただ旅も映画もお金がかかる。相次ぐ物価高騰と低い年金では資金が足りない。昔はほとんど見なかったスーパーのチラシに首ったけ。大企業の溜め込み金は 500 兆円を超え軍事費も 8 兆円に迫る。旅行やくらしを楽しめる国に。政治を変えなきゃ。やっておきたい 100 のこと。急がなくちゃ。

(古怒田 幸子)



4 人家族の日記

この町がちょっと好き

ままりんです。
ままりんは毎週金曜日、三軒茶屋で一人暮らしの叔母（ままりん母の妹、82 歳）の家にお手伝いに行っているが、先日叔母宅を訪ね玄関を開けようとすると、チェーンがかかっていて開かない。インターホンを何度鳴らしても、電話をしても寝ていて、かなり耳が遠いので聞こえない。わ～こまった～。叔母がチェーンをかけてしまいヘルパーさん、リハビリさん、訪問看護師さんが入れない事件はよくあり、常習犯の叔母。普通の

鍵は、玄関外のキーボックスに入っているのが開けられるのだが、チェーンはかけないでと何度言ってもかけてしまう。みんな、長時間は待てないので仕方なく帰る始末。そしてままりんには初めての出来事。ドアの隙間から何度も叔母を大声で呼んだり、電話も何回もかけるが、しーんとしている。仕方ないので、ごはん食べたりスマホで用事をしたりしつつ外で待つ。時々呼びかけたり電話したり。で、2 時間待ち、5 時半。もう帰らなきゃ。でも、もしかして死んでいたらどうしよう？今、腰を痛めているし。寝てる可能性大だけどこのまま帰れないよな～。よし、お隣の家のベランダから叔

母のベランダに移ろう、とお隣さんを訪問するも、右隣は留守、左隣は空き家。なので空き家のさらに左隣のお宅へ。ピンポンすると、どうぞ、でもあと 15 分で出かけます、と言うので大急ぎ！でベランダにお邪魔し、背より高いベランダの壁を、台を借りてよじ登る。空き家なので降りるとき、何も置いていなくてひゃ～高い！54 歳のままりん何とか飛び降りる。靴下真っ黒。

で、また台を借りてよじ登る。上に障害物があり、道路のほうにはみ出しながら乗り越える。6 階だから、落ちたらお陀仏よ、コワイ～。根性でたどり着く。よくやった！叔母は！寝ていました～。ほっ。

左隣々の親切な奥様、ありがとうございました。(続)

